

## ＜ERECON ESD 研修＞カンボジア国での植林活動 2022 年 2 月

2022 年 2 月 14 日～21 日の全 8 日間、ERECON ESD 研修としてカンボジア国での植林ボランティア活動を実施しました。本ボランティア活動は、令和 2 年度「日中植林・植樹国際連帯事業」の助成事業「カンボジア国コンボンチャム州の農山村域における環境修復を目指した植林事業」の一環として、コンボンチャム州農林水産局の協力のもと、特定非営利活動法人環境修復保全機構により開催され、日本から 2 名の学生、カンボジア国から 4 名の学生が参加しました。

8 日間に渡るボランティア活動では、日本から参加した学生がカンボジア人学生とバディを組み、コンボンチャム州の農山村域における環境修復を目指した植林活動の支援、森林に関する講義の受講、州森林局が管理する苗床の見学、森林資源がもたらす経済・社会・文化的効果の学習（ゴムプランテーション、バンブーブリッジ、樹齢 100 年のラバーフォレスト等への訪問）をすするとともに、課題に向けたグループディスカッションを通して、植林の重要性や持続可能な森林管理の現状と難しさについて知識を深めました。最終日には、各グループが持続的な植林地管理における課題へのアクションプランを発表し、「人と自然との共生の在り方」や「持続可能な開発」へのアプローチ方法についても議論を展開しました。

### 【活動スケジュール】

| 月日          | 活動   | 宿泊地       |
|-------------|--|-----------|
| 2/14<br>(月) | ・現地集合<br>・プノンペン国立博物館およびワットプノン訪問  | プノンペン市街   |
| 2/15<br>(火) | ・キリング・フィールド訪問<br>・プノンペン王立農業大学訪問<br>・団体スタッフによる「カンボジア国における森林破壊の現状」および本植林事業の活動内容紹介<br>・専門家による「森林の機能～森林水文学～」についての講義およびグループディスカッション | プノンペン市街   |
| 2/16<br>(水) | ・陸路移動（コンボンチャム州へ）<br>・コンボンチャム州農林水産局訪問<br>・コンボンチャム州森林局事務所および当局が管理する苗床 2 か所見学<br>・バンブーブリッジ訪問                                      | コンボンチャム市街 |
| 2/17<br>(木) | ・陸路移動（同州コンボンシエム郡へ）<br>・Ken Chrey Knong 寺院における植林活動、調査等<br>・コンボンチャム市街でのグループディスカッション  | コンボンチャム市街 |
| 2/18<br>(金) | ・陸路移動（同州コンボンチャム郡へ）<br>・Hun Neng Boeng Snay 小学校における植林活動、調査等<br>・コンボンチャム市街でのグループディスカッション   | コンボンチャム市街 |
| 2/19<br>(土) | ・陸路移動（トボンクムン州へ）<br>・樹齢 100 年のラバーフォレスト訪問<br>・カシュー園視察と収穫体験<br>・ゴムプランテーション視察と樹液採取体験<br>・陸路移動（プノンペン市街へ）                            | プノンペン市街   |
| 2/20<br>(日) | ・課題発表に向けたグループディスカッション  | プノンペン市街   |
| 2/21<br>(月) | ・持続的な植林地管理に関するグループ発表<br>・現地解散  | —         |

### 【活動写真】



専門家による「森林の機能～森林水文学～」についての講義



コンボンチャム州農林水産局訪問



コンボンチャム州森林局の苗床訪問



バンブーブリッジ訪問



コンボンシエム郡における植林活動



トボンクムン州のゴムプランテーション視察と樹液採取



コンボンシエム郡における植林活動



グループ発表



グループディスカッション



修了式



コンボンチャム郡における植林活動

【参加者の声】

- ・本ボランティア活動を通して学んだことは、自然資源が基盤となって人の豊かな暮らしが成り立っていることや、専門的視点から見る森林の機能についてです。知識だけでなく、多くの新しい経験をしました。これらの知識や経験を他の人にも共有したいです。
- ・このような機会を提供してくれた ERECON と助成機関に感謝します。活動を通して得た経験は私にとって大変励みになりましたし、友人にも本ボランティア活動への参加をお勧めしたいです。
- ・植林活動、樹種の同定と育成調査、意見交換等、本当に楽しかったです。また機会があれば是非参加したいです。
- ・まずはこのような活動への参加の機会を与えてくれた ERECON と助成機関に感謝します。活動を通して知らない知識や経験を習得することができました。何より、参加者全員と知識や経験を共有できたことが幸せです。是非、また同様のボランティア活動を実施して下さい。